

花の苑タイムズ

女声コーラスが熱唱

ハーモニカ演奏も 8月交流イベント



猛暑日が連日続いた八月、高崎花の苑が実施する「地域交流イベント」に四つのボランティアの皆様が来苑されました。このうち、group MY AUNTS (グループ マイ アンツ) (写真上) はコーラル・オリヴィエ、you友コーラル、コールファンタジー、コール・マーガレットの四つのグループで構成され、いずれも友石和子先

生が指導されています。この日は総勢二十名で夏をモチーフにした十四曲を歌いあげ、見事な歌唱力を披露してくれました。利用者様も感激された。利用者様も一緒に前のめりになって一緒に歌っておられました。またフレンズ五名の皆様 (写真下) はハーモニカのアンサンブル演奏の他ギターの弾き語りや紙芝居で利用者の皆様を楽しませてくれました。

平成28年 9月10日 発行
第24号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会



その他、レギュラーの民謡歌謡教室やマジックショーが行われました。

老施協イベント

職員が協力

群馬県老人福祉施設協議会 (略称・老施協) が介護福祉に対し、県民の理解促進の為に開催しているイベントがこのほど、高崎市のイオンモールで開催されました。二階オープンスペースに設置された会場には、老施協のマスコットキャラクター「じいちゃん」



●堀澤秀様 (写真) ●新井好男様 (絵画) ●安部朝子様 (はがき絵)

地域交流作品展

(三人展開催)

九月 (五日) 二十日まで展示) は三名の作品を展示しました。一号館二階の地域交流スペースで開催中です。



と共に「ぐんまちゃん」が登場し、人気を集めていました。(写真) 高崎花の苑では、下田弘、監物郁哉両職員がこの日のイベントに協力させていただきました。

峠道

「専門職で あることの自覚」

どのような職業に携わっているといえども所詮は人間である。いくら努力をしても、いくら苦労をしても、これでいいなどという完璧な仕事ができるとは限りません。

仕事の内容を理解し、計画を立て、準備もしっかり整えたつもりでも、いざ仕事に臨んでみると、思ったようにいかず、そんな自分の仕事に対して、苦惱あり落胆あり、あせりもあるといった連続もあり得るものです。

ひたすら努力を。しかし、人間として、また職業人としての自分を謙虚に問い、かえりみながら停滞することも許されない際限のない道をひたすら歩み続けなければならぬでしょう。

これは、特に専門職の持つ宿命ともいえます。専門という二字を一旦背負ったならば、その意味のもつ重みを、否が応でも



かみしめながら仕事をしなければなりません。そのような自覚に支えられ、専門職であることの証しを立てようと、お互いに磨き合いながら努力していくことが大切なことであると言えます。まさに「努力に勝る天才なし」です。

(社会福祉法人健全会 理事 秋山末司)

二号館地鎮祭

工事の安全を祈願

高崎花の苑三号館建設工事に伴う起工式 (地鎮祭) が八月三十一日に行われ、地権者および関係者が参入されたの儀式を行い工事の無事故、一切の安全を祈願しました。これにより三号館は基礎工事に着手し、明年二月完成をめざし急ピッチで工事が進められます。なお規模は二十九床及び短期入所十床です。

